

小千谷市総合戦略改訂版（案）に係るパブリックコメント実施結果

No.	P	基本目標	項目	意見	意見に対する考え方	修正
1	32	(1)基本目標との重要業績評価指数 (KPI)	①しごとをつくり、安心して働けるようにする（しごとづくり）	創業、開業 12 件増、空き店舗 7 件増は目標値であるが、めどは立っているのか。新規採用・就業者数の 675 人もめどは立っているのか。	創業、空き店舗開業の目標値については実績値や相談件数を基に推計して目標値として設定しました。また、新規採用・就業者数についても実績数を基に推計し、目標値として設定しました。 KPI は目標値であり、達成を目指していますが、既にめどが立っているものではありません。	なし
2	32	(1)基本目標ごとの重要業績評価指数 (KPI)	②新しいひとの流れをつくる（ひとの流れ）	転入者数が 750 人/年となっているが、根拠は何か。県人口移動調査を基準にしているのか。	小千谷市人口ビジョンの 3. 人口の将来展望（2）将来人口の見通し（市推計）において、目標達成のため、年間 50 人程度の転入増が見込まれると仮定していることから、平成 30 年度実績値を考慮して 750 人とするものです。	なし
3	32	(1)基本目標ごとの重要業績評価指数 (KPI)	③結婚・出産・子育ての希望をかなえる（結婚・出産・子育て）	出生数 280 人/年も根拠は何か。県人口移動調査を基準にしているのか。この 3 点が目標通りに行けば、市の人口は自然減を加味しても現在の 3 万 5 千人を維持できることになる。目標値として掲げることは反対しないが、現実を加味していただきたい。	小千谷市人口ビジョンの 3. 人口の将来展望（2）将来人口の見通し（市推計）において、出生数の見通しを合計特殊出生率が段階的に上昇すると仮定して算定しています。 出生数増加の目標は市の施策を総動員して長期的に達成を目指すストレッチターゲットとして設定していることから、現在の目標を維持するものです。	なし
4	34	1 しごとをつくり、安心して働けるようにする（しごとづくり）	ii 農業と錦鯉産業の成長産業化 ●6次産業化、新規就農支援	農業法人化数の目標値が 20 経営体になっているが、現在の法人も高齢化が進み、維持が難しくなっている法人がある。これをどのように考えているのか。	当市の農業法人化数は、近年ほぼ横ばいで推移しています。今後、ほ場整備や人・農地プランの作成に伴う地域（集落）での話し合い等を通じて、徐々に法人化は進んでいくと想定しています。 また、既存の農業法人については、農作業の効率化・低コスト化をさらに進めるとともに、積極的に地域農業の魅力を発信し、若手後継者の雇用・育成や経営の多角化に取り組むことで維持・発展を図っていく必要があると考えています。	なし

No.	P	基本目標	項目	意見	意見に対する考え方	修正
5	34	1 しごとをつくり、安心して働けるようにする（しごとづくり）	ii 農業と錦鯉産業の成長産業化	もうかる農業・産業として成り立つものの支援だけではグローバル化の中で日本は一部では成り立っても太刀打ちできなくなる。将来的には食料不足が懸念される中でスマート農業重視偏重ではなく、自給率向上のため兼業農家についても支援し、少しでも所得を増やし農業を継続できるようにすること、農地の保全を今から図るべき。集約化はこれまでの状況を見てもこれ以上は難しいと考える。	総合戦略では比較的短期的に取り組むことで人口減少抑制に対応し、効果を計測しやすい指標を掲げています。 専業、兼業に関わらず農業従事者の高齢化、減少に対応して農地を維持するためには、集約化、機械化への支援が必要と考えています。 なお、スマート農業については偏重するものではありません。	なし
6	36	1 しごとをつくり、安心して働けるようにする（しごとづくり）	iv 高齢者・障がい者の活躍できる機会の拡充 ●技術力確保と生きがい雇用促進	シルバー人材センター会員数の目標が令和6年度で420人となっていますが、（公社）シルバー人材センターの目標と整合しているのか疑問です。問い合わせたところ、中期計画では年間3人の増を目標にしています。すり合わせたうえでの目標でしょうか。	中期計画では年間3人の増を目標にしていますが目標達成には至っていません。 また、全世代型社会保障の充実の中で、企業の70歳までの就労機会の確保が努力義務とされることが提言されており、今後、会員数を増やすことは一層厳しい状況になると推測されます。 中期計画では令和6年度の目標は427人となりますが、小千谷市総合戦略の目標としては、近年の動向を踏まえて420人とするものです。	なし
7	36	1 しごとをつくり、安心して働けるようにする（しごとづくり）	iv 高齢者・障がい者の活躍できる機会の拡充	中小企業への財政支援で障がい者雇用を促す政策を採る。	総合戦略では比較的短期的に取り組むことで人口減少抑制に対応し、効果が計測しやすい指標を掲げています。 障がい者雇用促進に関する全体的な課題、今後の取組については、総合計画や障がい者計画、障がい福祉計画などの個別計画において検討します。	なし
8	39	新しいひとの流れをつくる（ひとの流れ）	ii 移住・定住支援 ●交流・お試し移住推進	ラウベは現在も空きが出ている。今後さらに空きが増えると私には思われる。廃止を検討する時期にきている。お試しは空き家を使えば良いと思う。	ラウベの利用は毎年ある程度の新規申込があるため、一定のニーズはあると考えています。 空き家の活用は所有者との調整や費用面に課題があるため、ラウベの空き区画の有効利用によりお試し移住を実施したいと考えています。	なし

No.	P	基本目標	項目	意見	意見に対する考え方	修正
9	43	3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる（結婚・出産・子育て）	ii 安心できる出産・子育て環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全ての妊産婦医療費助成の実現、子育てに安心感がわき、納税意欲も醸成する。</li> <li>・時間外保育や送迎費負担を支援し軽減する。</li> <li>・市立南保育園と私立幼稚園の時間外保育を市立全部に広げられないか。</li> </ul>	<p>総合戦略では比較的短期的に取り組むことで人口減少抑制に対応し、効果が計測しやすい指標を掲げています。</p> <p>子育てに関する全体的な課題、今後の取組については、総合計画や子ども・子育て支援事業計画などの個別計画において検討します。</p>	なし
10	43	3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる（結婚・出産・子育て）	iii 教育環境の充実	外国人の子弟への教育支援体制を確立する。	<p>総合戦略では比較的短期的に取り組むことで人口減少抑制に対応し、効果が計測しやすい指標を掲げています。</p> <p>外国人の子弟に対する教育支援は対象者ごとに個別に実施することとしています。</p>	なし
11	46	4 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域が連携する（まちづくり）	ii ひとにやさしい交通網の整備	デマンドタクシーの導入の早期具体化。	<p>新たなデマンド型交通の導入やコミュニティバスの運行拡大について、市内公共交通全体の見直しの中で今後検討を行っていきます。</p>	なし
12	47	4 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域が連携する（まちづくり）	iii 安心の雪国生活支援	<p>消雪パイプ費用の負担軽減、無償化をめざす具体化。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の安心安全のため屋根雪除雪費の負担軽減、SOS人員増対策強化。</li> </ul>	<p>総合戦略では比較的短期的に取り組むことで人口減少抑制に対応し、効果が計測しやすい指標を掲げています。</p> <p>市道の消雪パイプについては井戸掘削時の補助、電気料補助など行っていますが、無償化の予定はありません。</p> <p>高齢者向けの除雪援助は福祉施策として実施しているほか、SOS雪おろし作業会員の募集を継続的に行っています。</p>	なし

No.	P	基本目標	項目	意見	意見に対する考え方	修正
13		その他		<p>1. 急激な人口減少社会の到来と向き合う 急速に進む少子高齢化、気候変動に伴う温暖化をふまえて</p> <p>①仕事づくり 鉄鋼電子産業・食品製造業など出荷額が1200億円で、市の中心産業です。テクノ小千谷名匠塾の積み重ねと成果から課題を明確にし、積極的な事業支援を行うことが必要です。</p> <p>②錦鯉産業の海外市場の販路拡大や、小千谷に豊富にある食材を活用した事業など可能性は無限です。また、無限にある再エネ資源を活用した自給都市として積極的に取り組むことが重要です。資源を利用しないのでは宝の持ち腐れです。</p>	<p>総合戦略では比較的短期的に取り組むことで人口減少抑制に対応し、効果が計測しやすい指標を掲げています。</p> <p>ご意見に対する今後の取組については、総合計画等において検討していきます。</p>	なし
14		その他		<p>2. 人の流れを作る</p> <p>①行政が地域資源の豊かさを自覚し、情報発信と地域経済循環システムづくりを主導することが必要です。小千谷ブランドを確立するためには行政の積極的な関与と後押しが必要です。</p> <p>②市内にある景観資源や観光資源を有効に活用して人の流れを作ることが必要です。外の沢の棚田 小千谷縮 錦鯉 闘牛 花火 日本酒や食と農など・・・ありますが、単発的なイベントで終わっており、行政がランドデザインを描くことが必要です。</p>	<p>総合戦略では比較的短期的に取り組むことで人口減少抑制に対応し、効果が計測しやすい指標を掲げています。</p> <p>ご意見に対する今後の取組については、総合計画等において検討していきます。</p>	なし
15		その他		<p>3. 田園都市小千谷ブランドの確立</p> <p>田園都市おぢやのブランドは「自然景観・文化と食」に象徴されます。豊かな自然景観と観光資源を活かし小千谷ブランドを確立するためには環境整備が重要ですが、再エネ自給都市はブランドを確立するうえで不可欠の条件です。</p> <p>*自然景観 錦鯉発祥の地 小千谷縮 闘牛 世界一の花火・「4尺玉」</p> <p>*食と農 魚沼米 そば 日本酒 米菓 カリフラワーなど・・・</p> <p>*河岸段丘 段丘ウオーク 小道散策ルート</p>	<p>総合戦略では比較的短期的に取り組むことで人口減少抑制に対応し、効果が計測しやすい指標を掲げています。</p> <p>ご意見に対する今後の取組については、総合計画等において検討していきます。</p>	なし

No.	P	基本目標	項目	意見	意見に対する考え方	修正
16		その他		<p>4. 切れ目のない子育て支援施策の展開 定住人口対策として幼児教育・保育の無償化は不可欠です。すでに100を超える自治体が無償化に向けて動き出しており、後追いでは意味がありません。</p>	<p>総合戦略では比較的短期的に取り組むことで人口減少抑制に対応し、効果が計測しやすい指標を掲げています。 ご意見に対する今後の取組については、総合計画や子ども・子育て支援事業計画などの個別計画において検討します。</p>	なし
17		その他		<p>5. 行政のイニシアチブ 基本目標3の④には連携して時代に合った街づくりとあります。小千谷にはすでに時代に合った街（自然景観・文化と食と農）と自然環境があります。資源を活かすグランドデザインを描き実行するかどうかが問われているのではないのでしょうか。</p>	<p>総合戦略では比較的短期的に取り組むことで人口減少抑制に対応し、効果が計測しやすい指標を掲げています。 ご意見に対する今後の取組については、総合計画等で対応していきます。</p>	なし
18		その他		<p>小千谷市のそれぞれの課の役割を果たすため、しっかりとした専門部員の配置が継続的になされるような配慮は十分かどうか。</p>	<p>職員の配置については、それぞれの課が必要とする専門職を含む職員を配置しています。 また、人事異動等があっても的確に引き継ぎを行い業務が継承されるよう対応しています。</p>	なし
19		その他		<p>人口減少を抑制するには、いろいろな施策が必要と考えるが、新規企業立地による、働く場所の増大がなによりも必要と考える。 平成30年度の工業用地造成が1カ所となっておりこの点は評価されるが、具体的企業誘致がされたとは聞いていない。担当の元県職員の配置は「広報おぢや」等で知っているが、具体的成果はあるのか。 確かに今日的状況は、米中貿易摩擦や景気の先行不安などあり簡単ではないが、積極的に進めてほしい。 かつて星野市政の頃はトップセールスで成果を上げたこともあった。市長初め市の管理職が国内国外に打って出てほしい。保守な現状維持施策では小千谷の未来はない。行政、議会の活躍を望んでやまない。</p>	<p>鴻巣産業団地の用地は既に2社から購入いただき、1社は既に操業開始しています。また、もう1区画についても来年度以降整備が進むことになっております。 その他ご意見に対する今後の取組については、担当課を中心として検討していきます。</p>	なし